



2024 年度  
第 24 号

# 体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

大韓体育会  
金上納疑惑  
前飛込競技指導者に  
資格停止 3 年確定



スポーツ倫理センター  
2024 人権監視官委嘱  
人権侵害現場  
点検および予防



鄭ジェヨン副会長に  
韓国  
バスケットボールの春  
を聞く



障害者、健常者は別に？  
施設、空間は  
最初から共用で  
設けなければならない



障害者  
スポーツ人権を  
ご存知ですか？



**2024. 06. 16 (日) 20:00 ZOOM****2024 年第 4 回体育市民連帯執行委員会の結果****1. 体育市民連帯の核心目標と課題についての議論**

学生身体活動の低調問題に対する改善要求、体育団体独占的権限牽制、執行委員中心の業務推進など

**2. 大韓体育会長再任反対運動経過報告**

声明書、記者会見、カードニュース、マスコミインタビュー、コラムなどの活動があり、追加的に可能な活動について議論

**3. 故崔スクヒョン選手、4 周忌の対応方向を模索**

企画報道

24 日 - 崔淑鉉事件その後の変化

25 日 - スポーツ人権救済体系の問題点

26 日 - 今後の改善方向(チェ・スクヒョンの父親のインタビューを含む)

映像制作(ユーチューブ 5 分 4 本)

**4. パリ五輪開催前後の韓国の役割**

コラム/企画報道/インタビュー

7 月 26 日 - 8 月 11 日

**5. 組織再編(案)**

スポーツ政策モニタリング、被害者心理支援、サービス事業など詳細な役割と可能性についての議論

**01 時事ジャーナル 2024. 06. 14****大韓体育会「金上納疑惑」前飛込競技国家代表指導者に「資格停止 3 年」確定**

時事ジャーナルが高飛込国家代表指導者の金上納など色々な疑惑を報道したことと関連して、大韓体育会が当事者と名指しされたチョ・ウヨン前仁川市庁監督に資格停止 3 年の重懲戒を確定したことが確認された。チョ前監督が仁川市体育会の懲戒決定に反発し再審を要請したが、大韓体育会がこれを受け入れな

かったのだ。

**ダイビング元韓国代表に重懲戒決定**

時事ジャーナルの取材結果、大韓体育会傘下のスポーツ公正委員会は 6 月 12 日、チョ前監督の異議申請を棄却した。仁川市体育会が 1 月 31 日、スポーツ公正委員会を開きチョ前監督に下した「資格停止 3 年」の懲戒を維持するという意味だ。大韓体育会スポーツ公正委規定によれば、懲戒対象者は所属チーム

である1次懲戒機関の判断を先に受ける。これに異議があれば上級機関である2次懲戒機関に再審を要請することができる。2次懲戒機関の判断は最終的だ。

指導者に対する懲戒は、けん責、減給、出場停止、資格停止、解任、除名などだ。スポーツ界では出場停止以上の懲戒を重懲戒と見る。懲戒事由は入学不正、性暴力、暴力、八百長、金品授受などを犯した時だ。先立って大韓水泳連盟は2023年12月、時事ジャーナルの単独報道(2023年12月1日付<「飛込国家代表指導者、未成年選手に性的暴行を加え常習的に金の上納授受」>記事参照)が出た後、チョ前監督を国家代表チーム指導者から除外した経緯がある。

チョ前監督は2012年以後、常習的に仁川市小・中・高と実業チーム飛込選手から金を上納された疑惑を受けている。2015年12月7日、未成年選手に性的暴行を加えた疑惑も提起された。このほか、妊娠した選手を仁川市体育会に報告なしに転地訓練に参加させた点、資格のない選手に審判を任せた事実などの問題も浮上した。

仁川市体育会はこのうち、金の上納と性的暴行の部分は時効満了などの問題で懲戒事由に含まれなかった。ただし捜査機関の判断により追加懲戒は可能だという立場だ。先立ってチョ前監督は時事ジャーナルとの通話で関連疑惑を否認した。

#### 「体育会決定で事件終結」力を失ったスポーツ倫理センター

スポーツ倫理センターは仁川市体育会・大韓体育会の懲戒決定によりチョ前監督に対する調査を終結した。チョ前監督を追加懲戒する場合「二重懲戒」になりうるというのがスポーツ倫理センター側の説明だ。先立って未成年者性暴行疑惑などは時効満了の問題で終結処理した。

スポーツ倫理センターは2019年、スポーツ界「MeToo(私も)」運動をきっかけに設立された文化体育観光部傘下の独立機構だ。スポーツ界の腐敗・不正根絶を目指す。スポーツ倫理センターは被害申告を受けたり職権で事件を調査する。その後、結果によって文化体育観光部に懲戒を要請する。文体部がこれを大韓体育会に送り、懲戒対象者の所属チームが1次的に事案を審議する構造だ。

チョ前監督の事例では仁川市体育会とスポーツ倫理センターが同時に調査を進めた。仁川市体育会が先に懲戒を決め、スポーツ倫理センターは以後調査を終結した。

これと関連して体育界内部では懲戒決定がなされるシステムを改善しなければならないという指摘が出た。独立機構であるスポーツ倫理センターに権限を与えなければならないという趣旨だ。1・2次懲戒機関は懲戒対象者が属した体育界であるだけに、懲戒審議と決定過程で「自分の家族庇護」が続きかねないためだ。

これを念頭に置いたように、スポーツ倫理センターのパク・ジョン理事長は6月4日、国民の力のチン・ジョンオ議員と会い、体育界内の懲戒システム上の問題などに言及した。

パク理事長は「国民権益委員会勧告事項によれば、大韓体育会・大韓障害者体育会などが主管する懲戒審議委員会運営の不合理性と民間委員資格要件の不明確性問題点が提起された」とし、「違反行為別懲戒基準が曖昧で懲戒基準の具体化・細分化の必要性和不正疑惑役員の管轄問題などを指摘されもした」と説明した。スポーツ倫理センターの権限拡大も取り上げられた。「体育団体がスポーツ倫理センター審議委員会の議決結果により懲戒を要求する場合、52%がまともに履行されていない」と話を切り出したパク理事長は「これに従わなかったりスポーツ公正委員会・法制賞罰委員会などに再審議を要求し量刑が大きく軽減される状況が多数発生する」と憂慮した。

それと共に「法改正を通じてスポーツ倫理センターの法的性格をスポーツ仲裁委員会またはこれに準ずる権限強化および拡大が必要だ」とし、「体育界不正および人権侵害に限っては直接的な懲戒要求および仲裁権限などを付与する方案が切実だ」と話した。

出典：<https://www.sisajournal.com/news/articleView.html?idxno=293709>

## 02 スポーティービーニュース 2024.06.17

### スポーツ倫理センター2024 人権監視官委嘱、人権侵害現場点検および予防



文化体育観光部傘下のスポーツ倫理センター(理事長パク・ジョン)は8日、体育界の人権侵害および不正予防活動のための新規人権監視官計10人を委嘱し、活動のためのワークショップを実施した。

国民体育振興法第18条の3第3項第4号に基づく人権監視官は体育界現場の人権侵害調査・措置状況などを常時点検でき、今回の新規人権監視官は選

手出身と指導者および学校体育指導者などで構成された。

人権監視官は持続的に提起される体育界内の人権侵害と不正問題など事件・事故を予防し措置するためにスポーツ倫理センターが法令により人権監視官制度を運営している。

今回の2024人権監視官は、今年末まで済州特別自治道の17の高校内の31の運動部を対象に、人権侵害や不正問題などの現場点検や予防活動を行う予定だ。

一方、スポーツ倫理センターは事業拡張を通じて来年には全国単位体育大会と全国小・中・高等学校運動部などを対象に人権監視官活動を目標にしている。

出典：<https://www.spotvnews.co.kr/news/articleView.html?idxno=685549>

## 03 ニュースフリーゾーン 2024.06.11

### スポーツ関係者：鄭ジェヨン副会長に「韓国バスケットボールの春」を聞く



学生選手から学生へ、社会部記者からスポーツ部記者へ、放送局から大韓バスケットボール協会へ、…、大きな変化の人生を生きてきた人がいる。鄭ジェヨン現大韓バスケットボール協会副会長だ。延世大学校出身の鄭ジェヨン副会長は2024年3月29日付で新しく大韓バスケットボール協会の常

勤副会長を引き受けた。再び新しい冒険を始めた鄭ジェヨン副会長の旅程をシス・ブンバが振り返った。

#### PROFILE

体育教育学科、新聞放送学科（現・言論広報映像学部）

現 大韓バスケットボール協会常勤副会長

元 KBS スポーツ取材部長

元 KBS スポーツ局長

前 大韓バスケットボール協会未来戦略推進委員長

## Part 1. 学生選手から学生へ

変わった経歴を複数持っている鄭ジェヨン副会長にまずサッカー選手生活について聞いた。彼は、「まともに選手をしたとは言えない」と話し始めた。

サッカーがとてもやりたくて中学生の時に始めたんですが、学生選手の現実を私が受け入れるにはちょっと難しかったです。今はずいぶん変わりましたが、当時の運動選手は授業にほとんど出ることができませんでした。先輩後輩間の暴力、コーチの体罰もあり、一日に早朝、午前、午後、夜間に4回運動し、運動部の学生も当時はとても荒れていました。なので幼い時に、「これで合ってるのかな？」と思いました。

途中で一度練習ゲームをして肋骨を怪我しました。運動ができないので仕方なく教室にしばらく入って友達に会ったのですが、「あ、これは違う」と思って結局1年ほどしてやめました。最近、同好人で中学生の時に少し運動した友達を選出と言わずに「班出」と言います。例えばそういうことです。(笑)

鄭ジェヨン副会長は、学生選手と学生の両方を経験した立場で、韓国の二分法的システムを指摘した。韓国はシステム自体が完全に区分されていました。大きく変わっていますが、基本的な枠組みは変わっていません。エリート運動部に入ったら進路が決まったんです。「プロ選手を目標に走る」勉強は後回しになって…運動部よりも運動が得意な学生もいると思いますが、運動部に入らないとただ大学に入ることを目指す一般の学生なんです。

このようにエリート運動学生選手と一般学生の進路ルートが完全に区分されています。この壁を崩すのが文化体育観光部、教育部、いろんな種目の協会にとっては大きな課題です。体育界でも必要性は認めますが、現実には難しいという理由で(この課題を)受け入れられないところがとても多いです。

一般学生の道に戻ってきた時、学業的な困難はなかっただろうか？

ありました！中学校の時、これが一番怖かったです。元々勉強が上手だったんですが、運動を始めて教室に全く入れなくて、入っても寝てばかりいて。これだから試験を受けることができない水準でした。多分(順位が)ほぼ底に行っただと思います。私たちの時代は高校の入学も試験を受けなければなりません。修学能力試験のように受けて最低点数を通過しなければ割り当てられませんでした。最低点を超えるのがそんなに難しいことではありませんでしたが、運動をやめた時はそれさえ負担でした。

実際、高校入学は大きな困難がなかったのですが、大学に進学する時、中学校が基礎を固める一番重要な時期なのに、この時勉強をしなかったから数学のような科目の基礎がとても足りなくて苦勞しました。私はそんなこと以外に大きな困難はありませんでした。

## Part 2. 「言論人の道」

紆余曲折の末、延世大学体育教育学科(以下、体育校)に入学後、新聞放送学を複数専攻し、記者の夢を育てた鄭ジェヨン副会長。記者生活中にも「イシューメーカー」だった彼に「KBS再合格事件」の一部始終を尋ねた。

94年度にKBS入社試験を受けたんですが、その時はスポーツ記者を選ばなかったんです。それで、ただ「一般記者として入ってスポーツ記者をすればいいんだ」と思って、試験を受けて入りました。入って、「スポーツ記者がやりたくて来ました」と話したら、5年ほど勤務したらスポーツ局に送ってくれると言っていました。それで大田で社会部の記者生活を始めました。社会部記者としての基礎トレーニングは記者の誰にとっても必要なものだから、一生懸命働きました。

途中でキャリアについて悩んでいたところ、入社公告が出たのですが、スポーツ記者がありました。問題は、私が試験勉強をする状況ではありませんでした。朝方の4時に出勤して、…

当時は「ワークライフバランス」概念を語る状況ではなかったと付け加えた。

幸い英語の点数がまだ有効だったので、一番近い先輩一人にだけ話して秘密にしてほしいとお願いして試験を受けました。

今も生々しく覚えているのが、大田報道局の1階で徹夜勤務をして朝の記事を整理していたところ、大田総局長の先輩が階段を狂ったように駆け下りてきて陰い話をしながら、この鄭ジェヨンがどこにいるのかとおっしゃっていました。何かあったんだなと思って行ったら、大騒ぎだったんです。ソウル人事局長から電話があったと…筆記試験に合格したら面接を受けなければならないが、人事局長が見ていて「いや、この人はニュースに出てくる人だけけど？」と言って大田総局長に電話したのです。その時、とてもうるさかったです。現職の記者が、9時のニュースレポートまでする人間が、なんで記者試験をまた受けるんだよ。これってありかと。

最終面接当時のエピソードにも触れた。

少し紛らわしいですね。面接の時にホン・ドゥピョ社長なのか、チェ・ドンホ副社長なのか、…私に"鄭記者、君は一体どうしてこんなに物議をかましてまでスポーツ記者をするというのか"と聞かれて答えました。「私の履歴書を見てください。私はサッカー選手で、大学も体育科と新聞部を出ました。私はスポーツ記者になりたくてその過程をすべて経て、準備ができました。社会部でトレーニングも十分受けました」「スポーツ記者が本当にやりたいのに、会社の都合上5年を待たなければならないというので、やむを得ず再び試験を受けたのです。送ってくれば誰よりもうまくやるから、送ってください」とカンカンと言いました。そしたら手振りをしながら"出ていなさい"って言うんですよ。それでそのまま出てきました。

もともとスポーツ記者を選ぶのが2人でした。会社では悩んだ末に新入を2人選び、私は大田からソウルスポーツ局に発令を出しました。

実は大田から新入社員の研修も送ってくれませんでした。それで私はただ現場で勤務しました。当時、扶余で非常に大きなスパイ事件がありました。私がある時、現場に投入されて2~3日間ほとんど眠れずに取材しながら私たちが特ダネ賞を受けたが、よく言う「乞食」をして会社に来たら大田局長が「あなた、そのまま荷物をまとめて上がりなさい」と言ってその状態で荷物をまとめてソウルに来ました。

結局、自分が望んでいたスポーツ記者の座を勝ち取った鄭ジェヨン副会長は、その後、多様な記事だけでなく、ドキュメンタリーも数本製作した。ドキュメンタリー製作の背景について尋ねると、鄭ジェヨン副会長は「スポーツ変革プロジェクト」の一環として2年間6編のプログラムを製作する企画を米国留学中に構成し韓国に持ってきたと答えた。

私、2002年のワールドカップが終わってから留学に行ったんですよ。以前はスポーツ局がスター選手に関する記事、例えば「パク・チャンホがよくやった、ソン・ドンヨルがよくやった」、こういう記事をたくさん書いて、スポーツの構造的問題を扱う報道物はほとんどありませんでした。それで記者たちが深層ドキュメンタリー番組を作る時事制作局に志願して行きました。今の「時事企画窓」の前身が「時事企画サム」ですが、私が創立メンバーになったのです。

鄭ジェヨン副会長は6部作の中で<パク・チャンホとマイケル・ジョーダン>、<申し訳ありません。運動部です。>の企画意図について詳しく説明した。

第6弾のうち第1弾である<パク・チャンホとマイケル・ジョーダン>は、パク・チャンホ選手を連れてメジャーリーグというグローバルなリーグが大韓民国市場に入ってきた時、韓国の放送局がなすすべもなく崩れる過程を扱いました。世界でスポーツは今や産業のパラダイムに成長していくのですが、私たちは金メダルだけを見つめる過去のパラダイムに縛られていて、スポーツ産業のトレンドに対応できなかったことを扱ったのです。

<すみません。運動部です。>は大韓国内部の構造的問題を扱ったものです。核心は勉強を全くしなくても運動さえうまくやればソウル大、延世大、高麗大に送ってくれる体育特技者制度が私たちのスポーツシステムを歪曲させる本質的要素だと見たのです。

この2つが私の博士論文です。「世界でスポーツは一つのコンテンツ産業として途方もなく成長しており、これに私たちが対応するためには大韓民国のシステムを構造的に変えなければならない」このような主張をしたのです。

鄭ジェヨン副会長は、成績至上主義的観点が生んだ人権侵害などの弊害を指摘し、「金メダルパラダイムを越えて、産業と福祉のパラダイムでスポーツを見なければならない」と主張する。スポーツは強力な経済的効果を算出できるコンテンツであり、誰もが享受すべき権利という観点だ。

僕の経験がとても多く反映されたんです。サッカーが好きでサッカー選手生活を始めたのですが、サッカー訓練をするのが怖くなった経験です。行き過ぎた訓練と体罰…若い年齢でも「私がこうして後で正常人になれるだろうか?」と考えました。私はサッカーはやめたけど、スポーツは相変わらず好きだからスポーツを変える仕事をしたい。

その時、テレビを見ると記者が本当に格好よく見えました。記者が取材して、何か変わったとか。私も記者になってスポーツを変えたい。それで実はスポーツ記者をすることになったんです。

記者生活をしながら最初はよく言う「世間知らず暴れる記者」として生きていました。この人も批判して、これも間違ってるって…そうして感じたのは、これがあまりにも巨大な問題なので「誰かが人を殴ったからその人を罷免しなければならない」と言ったからといって変わるようではなかったです。それでアメリカに留学しました。「韓国では私に答えを話してくれる人がいないので、直接行って勉強して私が答えを探して戻ってきて、それを報道に反映しなければならない」という考えで行きました。

「最初は財政的余力がなかったので、博士までやるつもりはありませんでした。修士教授が博士まですることを推薦され、また講義を任せてくださって財政的支援を受けながら博士まですることになったのです。

そこで私が下した結論は、アメリカのNCAAシステムが最低学力制度をもとに勉強と運動を並行しないと運動に参加できなくなっていて、大学がそうするからNFHSも同じようについていっていました。これを見て、私たちも勉強と運動を並行できるシステムを作り、大学のスポーツと高校のスポーツを入試につなげるのが結局は解決策だと思って、今までその仕事をしているのです。

最近、ネットフリックスのバラエティーに出演したイ・グァンヒ(体育館07)の<申し訳ありません。運動部です。>出演分を短く編集した映像がささやかな話題を集め、<すみません。運動部です。>を再び視聴した人が増えた。

私はそれは知りませんでした。うちの娘がイ・グァンヒが図書館に行って迷っている映像を見せながら「これナレーションパパの声じゃないの?」と言いました、それで私が「お前がこれをどうやって見たの?」と言った記憶はありますが、人々がまたたくさん見ているとは知りませんでした。

新鮮で気持ちいいですよ。結局、コンテンツを作る人たちは、大衆が自分が作ったものをたくさん見て、それが人々の役に立つならいいじゃないですか。実はみんな(イ・グアンヒを見る楽しみがあると思いますが、…(笑)

撮影当時、イ・グアンヒが面白い場面をたくさん作り、製作陣が編集しながらイ・グアンヒをととても可愛がっていたという後日談を聞かせてくれた鄭ジェヨン副会長、明るい顔で話を続けた。

実は最近、3×3バスケットボール大会の現場に行ったのですが、そこで中継制作業務をしていたPDの友人一人が訪ねてきて挨拶をしました。自分は野球選手出身で、<すみません。運動部です。>を見て、キャリア転換をうまくやったので記者さんにありがとうと、人生の大きなきっかけになったと挨拶して下さったんですが、大きな賞をもらうよりも報われる感じ、本当に胸がいっぱいになる感じでした。

### **Part3.鄭ジェヨン副会長に「韓国バスケットボールの春」を聞く。**

鄭ジェヨン副会長は、「なぜサッカー選手出身であるにもかかわらず、バスケットボール界で働くようになったのか？

私が大学に入ってから<ボルケーノ>というバスケットボールサークルに入ってから完全にバスケットボールにはまってしまいました。今でも『ボルケーノ』は全国で強豪なのですが、私たちの時代も優勝もたくさんしながら楽しく過ごしました。今までも集まりに行くとYBの友達と一緒に運動もして。サークルをきっかけにバスケットボール記者生活をしていたら、関連の縁ができてバスケットボール未来戦略推進委員長をすることになりました。

大韓バスケットボール協会（以下、バスケットボール協会）の副会長を務めることになったストーリーも聞くことができた。

私が2023年に大韓民国バスケットボール未来発展戦略報告書を作ったが、これをバスケットボール協会が理事会代議員総会を通じて公式採択しました。バスケットボール協会はこれからこうやっていくと言っているんですが、これは私が委員長として組織の外で実行するものじゃないですか？限界が感じられました。「これを実行するには、組織の中で人事と予算権を直接握って、一つ一つ管理しなければ難しいだろう」と、それで副会長をしてしまったのです。

実はKBSは定年が保障されているところじゃないですか。KBS局長の座を離れるというのは簡単なことではありませんでした。「子供たちの入試も全部終わったのに、私がやりたいことを私がやって生きてはいけないか」と家内に話したら、快くやれと言ってくれました。それで副会長を務めました。

「大韓民国バスケットボール未来発展戦略」と題した報告書で、エリートと生活体育人の統合に向け、ディビジョンシステムなどを拡充すべきだと主張した鄭ジェヨン副会長。関連して新たに準備中の事業があるか尋ねた。インタビュー日基準で正式就任が1ヶ月も経っていないが、多様な事業を紹介した。

実は同好者バスケットボールがすでにとてもレベルが高いです。上位チームには元プロ選手が2~3人以上プレーしているので、高校のエリートチームの中位圏の実力くらいになる生活体育バスケットボール選手が多いです。そこで私たちがメジャー大会を組んで、来年公式にディビジョン3(KBL3部リーグ格)を発足することにし、メジャー大会にランキングポイントをつけた後、年末に仮称「バスケットボールコリアカップ」で王中王戦を大きく企画しています。

実際、鄭ジェヨン副会長は慌ただしい1ヶ月を過ごしている。就任後初めて行われた国家代表試合である3×3バスケットボールアジアカップで、男子バスケットボール国家代表チームが拙戦の末、組別リーグ脱落という期待に及ばない成績表を受け取った。原因としてバスケットボール協会のずさんな監督選任と選

手選抜が指摘され、バスケットボール協会は実際に監督選任過程で指導経歴確認が不十分だったことを認めた。結局、バスケットボール協会は監督の経歴を事後的に確認中であり、監督が履歴書に提出した経歴が虚偽であることが明らかになった場合、手続きに従って処理することを発表した状態だ。鄭ジェヨン副会長は3X3種目関連論難に対して先に口を開き、「協会の種目に対する無関心」という根本的な原因を指摘した。

3X3 ディビジョン1、事実上プロリーグを協会で直接運営しようと思います。今回色々な議論に対して協会で本質的に責任感を感じるのが、3X3がオリンピック種目なのに国内にまともなリーグも存在しないので、選ぶ選手と指導者が本当に珍しいです。3x3の経験がある、国際的なトレンドについていくことができる指導者があまりにも不足しています。協会の一人として私も責任を共有しなければならないという考えで、今年の下半期にソウルないし首都圏でリーグを作ろうとすごく努力中です。

最後に鄭ジェヨン副会長に「韓国バスケットボールの春とは何ですか？」という質問を投げかけた。

一言でディビジョンシステム。

誰かはとんでもない話だと言うでしょうが、2032年のブリスベン五輪までバスケットボール選手を100万人に育成するのが私たちの目標です。ディビジョンシステムを通じて、100万のバスケットボール選手を育成できると思います。私達も先進国のように広い底辺で一番上手な選手がディビジョンを一つ一つ登ってプロ選手になって国家代表になるシステムを作るのが目標です。

「夢が大きければ、その割れた欠片も大きい」

いつも夢に向けた冒険の末、望んでいたものを勝ち取ってきた鄭ジェヨン副会長は、韓国バスケットボールに春風を吹き込む夢を再び見ている。

出典:<https://www.newsfreezone.co.kr/news/articleView.html?idxno=574512>

## 04 スポーツ京郷 2024.06.17

### 障害者、健常者は別に？…施設、空間は最初から共用で設けなければならない



「お互いに一緒に過ごさなければ、どう理解できるだろうか。障害者と健常者の差がないことを生まれて初めて実感した」

15日、ソウル盤浦漢江公園のイェビツ島で開かれたBDH財団理事長杯オウリム3X3車椅子バスケットボール大会に参加した男子バスケットボール国家代表出身のキム・ビョンチョル（51）、チョン・ヨンサム（40）が出した感想だ。キム・ビョンチョル、チョン・ヨンサムは車イス国家代表チームのキム・サンヨル（41）、オ・ドンソク（37）とともに「シューティング・トゥゲザー」というチームを構成し、予想外に2位まで上がった。

オウリム3x3車椅子バスケットボール大会は障害者2人、非障害者2人が「オウリム（訳注：調和）」する3対3バスケットボール大会だ。4人とも車椅子に乗らなければならない。キム・ビョンチョル、チョン・ヨンサムはこの3カ月間、車椅子に乗る練習を熱心にした。車椅子に乗るのはよちよち歩きのように。車椅子を転がすために手のひらが剥がれ、指も怪我をした。手のひらにはたこができて、手のひらは真っ黒になった。

今大会には計 12 チームが参加した。車椅子バスケットボールを長い間やってきたベテランの健常者もいた。ソウル市立大学のチン・ジュヨン教授（スポーツ科学科）と清州聖心学校のキム・ジェシク体育教師は、27 年間車椅子バスケットボールをしている。二人は龍仁大学特殊体育学科時代の 1998 年、車椅子バスケットボールをクラブ活動で始めた。

チン教授は「過去に国内で開かれたすべての車椅子バスケットボール大会は大部分障害者と健常者の統合で進行された」として「今は統合大会がなく過去に 7 個程度あった健常者車椅子バスケットボールチームも消えたり消える危機にある」と話した。チン教授は「現在、5 対 5 の車椅子バスケットボールチームが全国に約 30 チームある」とし、「これも過去に比べれば大幅に増えた数値」と付け加えた。チン教授は、かつて米国で修士・博士の勉強をしていた時に購入した車椅子に今も乗ってバスケットボールをしている。

金教師はバスケットボールの特技生として龍仁大学に入学した。バスケットボールチームが解体され、車椅子バスケットボールに接した。キム教師は「車椅子をうまく操作してあちこち抜け出せば、自動車に乗ってバスケットボールをする気分」とし、「やればやるほど車椅子バスケットボールの魅力に陥る」と述べた。キム教師は「障害者も非障害者も車椅子に乗れば表向きには同じだ」とし、「障害者と非障害者が一緒に交わる大会が多くなってこそ互いに理解できる幅も広くなるはず」と強調した。

今年 4 月、世界 6 大メジャーマラソン大会の一つであるロンドンマラソンは、世界マラソン史上初めて障害者と健常者の賞金を同じに合わせた。テニスも障害者と健常者を同等に待遇する代表的な種目だ。テニスは 2002 年から 4 大メジャー大会で車椅子テニスを正式種目として開催している。パラリンピックのパラリンピックが創設されるずっと前から、障害を持った選手がオリンピックに出たりもした。パラリンピックができてからはパラリンピックとオリンピックの両方に出場する障害者選手も登場し続けている。日本国家代表訓練センター(Japan National Training Center)は障害者と非障害者が共同で使用できるように建てられた。すべての案内文も障害者と非障害者が対等に製作された。一方、韓国はスポーツだけでなく、ほぼすべての施設と建物で障害者と非障害者施設を区分している。

障害者スポーツ界の関係者は「別途の追加装備と施設なしに障害者、健常者が楽に乗り降りできるようにバスの床の高さと歩道ブロックの高さを法的に合わせた国、障害者も差別なく就職できるようにマートの現金レジ係を無条件に座って勤務するように法律で規定した国がある」とし、「私たちも健常者施設を先に作った後、障害者施設を付加で追加するより最初から障害者と健常な人が一緒に使うことができる施設を作る方向に意識を転換しなければならない」と話した。彼は「階段式エスカレーターよりはコンベヤーベルト式通路を作れば、障害者と非障害者が一緒に使える」として「費用、空間がさらにかかるだろうが、障害者と非障害者が顔を伺わずに自然に同じ空間のような施設を気楽に利用できるようにしなければならない」と付け加えた。

出典：[https://sports.khan.co.kr/sports/sk\\_index.html?art\\_id=202406171524003&sec\\_id=530301](https://sports.khan.co.kr/sports/sk_index.html?art_id=202406171524003&sec_id=530301)

## 05 エイブルニュース 2024.06.17

### 障害者スポーツ人権をご存知ですか？



先日、障害認識改善と人権教育講師として活動する知人が障害者人権増進に関するコラムを書いて欲しいと提案してきた。

障害者と非障害者が一緒に運動するバリアフリースポーツ社会、文化現場で事実的に障害者人権問題は非常に重要な事案に違いない。

特に、非障害者スポーツだけでなく、障害者スポーツ界で頻繁に発生する障害者差別を防ぎ、障害者スポーツ選手の人権を保障するためにスポーツ人権憲章を置いている。

したがって今回のコラムでは、国家人権委員会で先日「スポーツ人権憲章」と「スポーツ人権ガイドライン」を改正し、関連機関と団体で履行することを勧告した経緯があるが、障害者スポーツ人権に関連した部分をより一層調べようと思う。

2021年8月に「スポーツ基本法などスポーツ3法」が制定されたことにより、2022年2月に国籍、性別、人種、身分、経済的状況、身体的条件などで差別しないという趣旨の「スポーツ基本法」と「体育人福祉法」施行令が公布された。

国民皆がスポーツと身体活動に自由で平等に参加する権利、専門体育人(障害者専門体育人を含む)が生活に対する大きな心配なしに国家体育の発展と国民の幸福増進に貢献できる環境づくり、このような国民生活体育と専門体育をつなぐスポーツクラブの活性化を通じたスポーツ福祉増進など、韓国の未来スポーツ政策を先導し基盤を築くための法的体系が用意されたのだ。

国家人権委員会では2010年に憲章とガイドラインを制定し履行してきたが、その後10年余りが過ぎた時点でスケート、柔道など種目で暴力・性暴力をはじめとする深刻な人権侵害事件が発生したことにより、これまで変化した体育界環境とスポーツに参加し享有する権利(以下、スポーツ圏)関連の多様な人権問題対応方案などを新しく反映し、現実適用性を高めるために憲章とガイドラインを改正し2023年2月1日に発表した。

発表によると、関係機関と体育団体などはスポーツ分野の人権保障責任を果たし、「スポーツ人権憲章」(以下憲章)と「スポーツ人権ガイドライン」(以下ガイドライン)を採択・履行し、選手と体育指導者をはじめ選手管理担当者など体育関連従事者にこれを教育することと「みんなのためのスポーツ」が定着できるよう努力しなければならないという内容だ。

それなら、スポーツ人権憲章は体育政策関係者、指導者、運動選手及び市民が知るべきスポーツの真の意味と身体活動の社会的役割を明らかにするために制定されたスポーツ人権憲章には何が含まれているのか？

スポーツ活動で享受しなければならない人権とこれを守るための韓国社会の努力方向を盛り込み、第7章第29条で構成されている。

第1章 スポーツは人権だ。 スポーツと身体活動は肉体とする自己表現活動だ。

第2章 すべての人はスポーツと身体活動に参加して享受する権利がある。

第3章 スポーツは、民主社会の健全な市民を養成する教育の場だ。

第4章のスポーツは世界人の公用語だ。

第5章 スポーツと身体活動は個人の幸福増進に寄与する。

第6章 スポーツは多様だ。

第7章 スポーツの真の目的具現のために社会構成員全員が努力しなければならない。

特に、第2章にすべての人の中には障害者を含んでいるが、第6条で国家は障害者がスポーツ活動参加の権利を同等に保障されるよう努力しなければならないとし、5つを明示した。

1. 障害者はスポーツと身体活動を通じて肉体的自信と体の大切さを認識することができる。 2. 障害者はスポーツと身体活動への参加を通じて、より多くの社会的交流の機会を持つことができる。 3. 国は障害者がスポーツ活動に積極的に参加できるように努力しなければならない。 4. 国家は障害の種類と欲求に合う身体活動の機会を与え、専門指導者を養成しなければならない。 5. スポーツ活動の現場では、障害者が自由に活用できる適切な設備を用意しなければならない。

スポーツ基本法第3条（定義）は「障害者スポーツ」とは障害者が参加するスポーツ活動（生活スポーツと専門スポーツを含む）をいい、スポーツ人権憲章に障害者を言及したものと理解される。

また「スポーツ人権ガイドライン」ではスポーツ分野で発生する暴力・性暴力・学習権侵害について調べ、これを予防するためのスポーツ人権の基準を提示し、特に第6節で障害者スポーツ権を保障すると明示している。

体育団体などはすべての障害者が自分の障害類型と身体条件によって適合したスポーツを選択して活動できるように政策を用意しなければならない。また、パラリンピック、オリンピック、スペシャルオリンピック種目などの障害者スポーツを活性化しなければならない。そして、既存の主要種目活動と競技大会に障害者が差別なく参加できるようにしなければならない。

特に障害者と健常者が共にする統合スポーツ活動を促進しなければならない。特に、教育機関は学校の体育活動に障害児童の参加を促進しなければならない。ここに障害者が利用するのに適した体育施設と便宜施設、装備、障害者スポーツ専門性を備えた指導者とプログラムを提供しなければならない。

この他にもスポーツ関連情報に障害者が便利に接近し、これを活用できるようにしなければならず、国内外の障害者競技大会中継と報道が拡大できるようにしなければならない。

国と地方自治体は障害者専門体育を活性化するため、障害者職場運動競技部を拡大しなければならない。そして、障害者専門体育人に適切な給与と賞金、福祉サービスを提供しなければならないと勧告している。

このようにスポーツ人権憲章やスポーツ人権ガイドラインを見れば、スポーツ人権憲章はすなわち障害者スポーツ人権憲章だと理解できるだろう。

すべての人のためのスポーツは障害者と非障害者が一緒に運動することから始まるだろう。

「みんなのためのスポーツ」が定着できるように努力しなければならない時、すべての人のためのスポーツ、すべての人によるスポーツ、皆のスポーツは障害者でもスポーツおよび身体活動で差別を受けずに自由にスポーツ活動に参加し、スポーツを享受する権利を持って障害者と非障害者が共に運動するバリアフリースポーツ活動で疎通と和合の体育社会を作っていた時、いよいよ障害者体育人権増進成果が現れるだろう。

出典：<https://www.ablenews.co.kr/news/articleView.html?idxno=213243>

## 07 週間スポーツニュース

非手術トランスジェンダー水泳選手、国際大会女子部出場不可判定

[https://www.news1.com/view/?id=NISX20240613\\_0002771297&cID=10501&pID=10500](https://www.news1.com/view/?id=NISX20240613_0002771297&cID=10501&pID=10500)

義王市体育講座閉講・・・都市公社 vs 市議会「そっちのせい」攻防

[https://ch1.skbbroadband.com/content/view?parent\\_no=24&content\\_no=60&p\\_no=170816](https://ch1.skbbroadband.com/content/view?parent_no=24&content_no=60&p_no=170816)

機張郡、総合体育公園「鼎冠スポーツヒーリングパーク」オープン

<https://www.nbntv.kr/news/articleView.html?idxno=330113>

「韓国生活体育 DAY」ユニフォームを着るとピザが半額

[https://www.nocutnews.co.kr/news/6161897?utm\\_source=naver&utm\\_medium=article&utm\\_campaign=20240617031444](https://www.nocutnews.co.kr/news/6161897?utm_source=naver&utm_medium=article&utm_campaign=20240617031444)

壊れたゴールポストまで細かく・・・原州市、体育施設の安全点検

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20240617017600062?input=1195m>

国民体育振興公団、国民健康保険公団と高齢者健康増進活動推進

<https://www.news1.kr/articles/5449944>

障害者体育会、漢江公園でパリパラリンピックフェスティバル開催

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20240616023900007?input=1195m>

鄭ユンギョン道議員、学校体育館の未開放および過度な使用料問題を指摘

<https://www.ajunews.com/view/20240617164104607>

大韓体育会主催「2024 幸福分かち合いパークゴルフ教室」開催

<https://www.newspim.com/news/view/20240617000393>

## 体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。  
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と  
福祉実現のために努力しています。  
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための  
体育市民連帯活動に強固な土台となります。  
体育市民連帯会員として力になろうと  
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>